

編集後記

今号の特集の上腕骨外側上顆炎の通称である「テニス肘」の由来となったテニスでは、皆様が本誌を手に取る頃にはパリオリンピックが開幕して熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がっていることと思います。日本からは錦織・大坂両選手が出場予定ですが、全盛期を過ぎた感があるもののメダルを期待せずに気楽に観戦できる良さがあるのかもしれません。

テニスはイギリス発祥のスポーツだと思いついていましたが、その起源は11世紀のフランスにあるようです。ジュ・ド・ポーム(手のひら遊び)といわれる、修道院の中庭の壁に向かって手のひらでボールを打ち合う球技がイギリスに渡って発展したものが現在のテニスになったそうです。攻守交代時にサーバーがトゥネ(tenez; tenir=フランス語で「取る」の命令形)、取れ、落とさずに取ってみると掛け声をかけていたのがテニスの語源になったとのことでした。

テニスは1,000年近い歴史があるということになりますが、紀元前8世紀頃から行われていたとされる古代オリンピックでは体操、ボクシング、レスリング、ランニング、走り幅跳び、槍投げ、円盤投げ、アーチェリーなどが行われていたようで、そのいずれもが現存しているので、それぞれ3,000年の歴史がある競技ということになります。特に体操競技が重視されていたとのことですが、確かに一番人間離れしているのかもしれませんが。仮に自分が幼少期に始めてどんなに打ち込んだとしても、カッシーナとかブレッドシュナイダーとかは絶対にできない自信があります。

一方、パリオリンピックでの新競技は唯一でブレイキンです。1970年代のアメリカ・ニューヨークのサウスブロンクス地区が発祥のストリートダンスですが、貧困地区でギャングが跋扈し、抗争により日々人命が失われていくなかで撃ち合いではなくダンスで勝負をつけようとして始まったそうです。あらゆる競技で暴力行為の擬似化という側面があるのかもしれません。オリンピックが平和の祭典といわれる由縁がそこにあるように改めて感じます。平和の祭典が行われようとしている今、ウクライナとガザ地区で命がこれ以上無駄に失われることのないよう心から祈るばかりです。

(國吉一樹)

令和6年8月19日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.43 No.8

発行：年14回(年12回発行+増刊号2回)

編集顧問 高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一

編集主幹 帖佐悦男

編集委員 田中康仁／岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／高平尚伸／岡崎 賢／國吉一樹／大鳥精司

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30

TEL 03-5228-2050/FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp (営業部)

jjs@medicalview.co.jp (『関節外科』編集部)

印刷所 三報社印刷(株)／〒136-0071 東京都江東区亀戸7-2-12

・本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権(送信可能化権を含む)、譲渡権等は(株)メジカルビュー社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外(「私的使用のための複製」など)を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：(株)文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 宮田ビル5階 TEL 03-3814-8541